2019年6月14(金)

差枚

-8枚

RANK

В

実戦機種

パチスロ北斗の拳 新伝説創造、アナザーゴッドハーデス、 パチスロ偽物語、パチスロコードギアス 反逆のルルーシュR2

実戦レポート

この実戦レポートのでも度々出てくる「末尾狙い」というやつだが、こんなのは所詮は打ち手側の勝手な憶測にすぎないので、もちろん通用しないホールだって山ほどある。ただ、「そういう狙い方をするお客さんが集まる」という事は、彼らは何かしらの経験や情報があってそうしているのだろう。何が言いたいのかというと、「末尾狙い」と当たり前のように書いているけど、根拠は一応あるよってことです。それを毎回説明する訳にもいかず、省いてますけどね。

さて、その「末尾狙い」だが、ホールによって使い方も様々。例えば、ホール側が一番使いたいのは「そのお店のイメージナンバー」だったりするし、でもその数字で毎回やると打ち手に読まれてしまう=他の台が稼働しにくくなるので、数字を毎回変えてくるのが普通だ。問題は、その「数字を変えてくる」というのが、どの程度の変え方なのか?ということ。同じ数字が被らないように使っていくと、徐々に「次回はどの数字か?」の候補が絞られてくる。

前置きが長くなったが、今回の実戦日はまさに、今までローテーションで変わってきた末尾の数字が残り2つまで絞られたタイミングであり、それゆえいつも以上に並びの人数が多かったよ、という事です。入店した時には、その候補末尾はほとんど埋まっており、こうなるとやはり不人気機種の全台系狙いか、バラエティに活路を見出すしかない。まずは「パチスロ北斗の拳新伝説創造」から…とおとなしめにスタートしたつもりだったが、その新伝説が早々にダメだと分かってしまい、さぁ困った。まだ開店から1時間も経ってないんだけどなぁ。

もう背に腹は代えられないので、候補の末尾で唯一空いていた「アナザーゴッドハーデス」なんか打ってみたりして。そうしたら、設定変更時のヘルゾーン高確移行という薄い抽選を射止めたのを皮切りに、謎のヒキが炸裂しまくる。全回転を2回(5と3)、その他にハーデス揃いを1回引くという世が世なら万枚確定レベルの事象を起こし、無難に1600枚ほどを流すことに成功。い、一応はプラスだから…。しかし、また打つ台が無くなってしまった。なので前回高設定っぽい挙動をしてくれた「パチスロ偽物語」をダメ元で打ち、やっぱりダメな感触。ああ、もうハーデスのプラス分が無くなるう~。しかし、バラエティにはまだ空き台がチラホラあったので、「この辺かあ?」と適当に選んだギアスR2が、なんと大当り! 設定差のあるボーナスと、ギアスポイントからのART当選が頻発し、高設定を疑いようもない展開に。ただ、全設定共通である部分のボーナスがとにかく引けず、結局マイナス差枚のB級フィニッシュですよ…。ちなみに、末尾の当りは皆の予想外の数字でした。このタイミングでパターンを変えるとは、ニクいねぇ。